

平成29年7月14日(金)

国土交通省 関東地方整備局
荒川上流河川事務所 

記者発表資料

荒川貯水池において水質改善に向けた水位運用を行います。

水位が高くなることがありますので、護岸や湖面利用の際には、ご注意ください。

荒川上流河川事務所では、荒川貯水池(彩湖)の水質改善のため、同貯水池において、7月21日(金)～9月末までの期間に洪水期満水位を超える貯留を行います。

貯留した水を貯水池内で循環させること、また、貯留した水を放流することで水質改善を図ります。

期間中は、これまでの水位と比べて高い湖面水位となる場合がありますので、貯水池の湖岸や湖面を利用する際にはご注意ください。

- ・洪水期満水位:A. P. +1.65m
- ・水質改善運用水位:A. P. +2.50mを上限として運用
(従前より、最大で0.85mの水位上昇)

なお、貯留した水は有効活用に努めます。

荒川貯水池の水位については「川の防災情報」のダム情報より確認する事ができます。(http://www.river.go.jp/kawabou/ipTopGaikyo.do)

※A.P.(東京湾中等潮位-1.1344m)(エーピー)

Arakawa Peilの略。東京湾霊岸島量水標零位を基準とする基本水準面。荒川の水位の基準となっている。

A.P.=T.P.-1.1344m T.P.=東京湾中等潮位

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ 神奈川建設記者会
さいたま市政記者クラブ さいたま市地方記者クラブ 川越新聞記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所

(TEL 049-246-6364)

副 所 長 齋田 紀行(さいだ のりゆき)

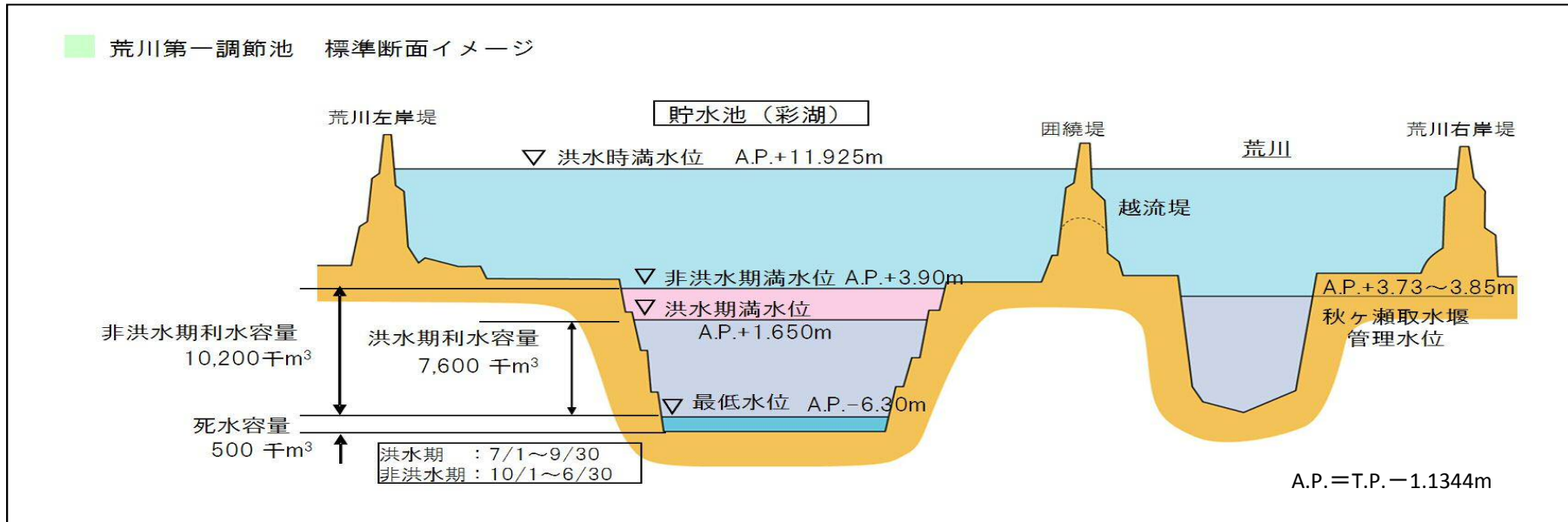
管 理 課 長 宮本 智 (みやもと さとし)

彩湖完成から20年

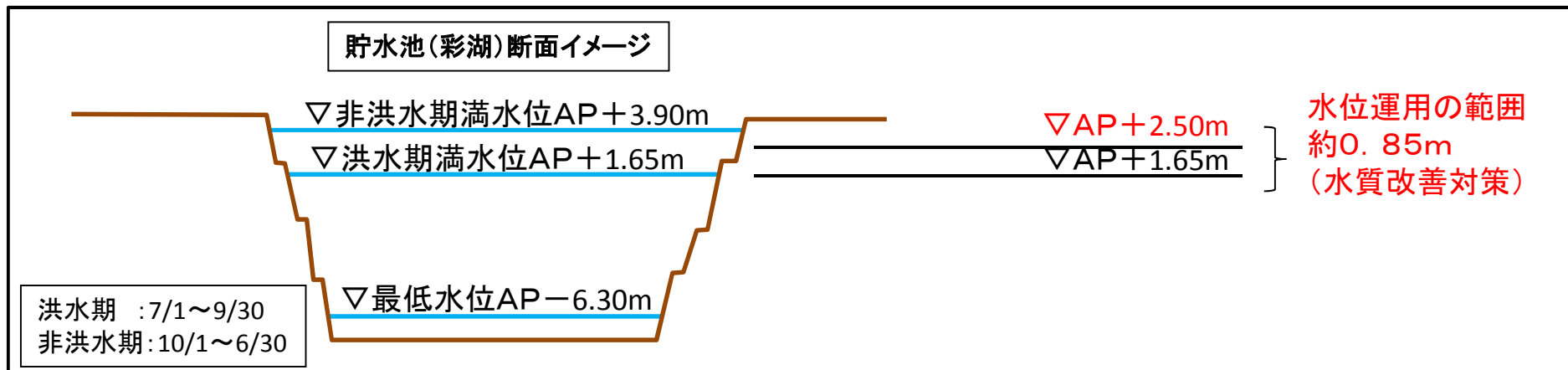
20
SAIKO

荒川貯水池(彩湖)における水質改善に向けた水位運用について

現状



運用後



荒川貯水池(彩湖)における水質改善に向けた水位運用について

水質改善対策イメージ

